

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ユーズキャリア

②事業者情報

名称：	上尾市立畔吉保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	渡邊 麻	定員(利用人数)：	80 名
所在地：	〒362-0065 上尾市畔吉1319-1	TEL	048-725-5400

③評価実施期間

令和7年 7月 30日（契約日）～令和8年 2月 12日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

【運営の取り組みや行事について】

・年間事業計画をはじめ、職員の研修計画等がきめ細かく策定されており、計画的な人材育成を通して福祉人材の育成が図られています。

・園舎に面した中庭は、どのクラスからも様子が見える構造となっています。周囲には多くの公園があり、散歩やどんぐり拾いなど、自然に触れる機会に恵まれた環境です。中庭も広く、ミカン、ザクロ、ブルーベリー、イチジク、柿、かりん、桜、イチヨウ、紅葉、キウイフルーツなど多様な樹木が植えられており、子どもたちは自然と触れ合いながら四季の変化を感じることができています。

・隣接地に菜園を借りて野菜等を栽培しており、子どもたちにとって学びの機会となっています。収穫した野菜を給食で提供するなど、食育の一環としての取り組みも行われています。

・園庭および園舎内では素足での保育を実践しています。素足で広い園庭を走ったり斜面を上り下りしたりすることで、土踏まずの発達を促しています。そのため、職員は毎朝入念に安全点検を行い、子どもたちが安心・安全に活動できる保育環境を整えています。

・園庭では異年齢交流が日常的に行われています。以上児は未満児の存在を意識し、安全に配慮した行動や遊びを心がけ、未満児は年長児の姿を見て模倣しています。また、未満児が保育室に戻った後は、年長児が園庭を広く使った活動を行うなど、異年齢保育を通して社会性や思いやりが育まれています。

・活動時間は年齢に応じて9時から11時、または11時半までと設定されています。設備面では、室内外に子どもが制作した物を置く棚が設けられており、十分な遊び込みや活動の継続・発展が可能な体制が整っています。子ども自身の意思で遊びを選び、深めていける環境が整えられており、主体性を尊重した保育が実践されています。

【市との連携】

- ・上尾市立保育所保育実施要領において、保育理念および基本方針が明確に示されており、あわせて上尾市子ども・子育て支援事業計画が策定されています。同計画では4つの基本目標が掲げられ、保育施策の方向性や目指すべきビジョンが明確に示されています。
- ・市との連携のもと、事業経営や経営課題、事業計画、サービスの質の向上に向けた取り組み、組織の運営管理、職員を取り巻く環境等について、継続的かつ丁寧な検討が行われています。
- ・所長会議では、各保育所における評価や課題を持ち帰り、共有・検討する体制が整えられており、その内容がより良い保育所運営へと反映されています。
- ・月1回実施されている市の給食研究会には、保育課栄養士をはじめ、所長、調理員、看護師、保育士等の多職種が参加しています。献立の検討や調理実習、身体測定結果の共有・相談等を通じて、専門性を活かした連携が図られており、子どもに安全でおいしい給食を提供するための取り組みが継続的に行われています。

【地域との交流を深める取り組み】

- ・地域の福祉ニーズを把握する取り組みとして、子育て支援センター事業の一環で園庭開放を実施するとともに、「赤ちゃんの駅」を設置し、地域の子育て家庭が利用しやすい環境づくりが行われています。
- ・また、公益的な事業活動としてAEDを設置しているほか、大規模災害時にはおしりふきや液体ミルクを提供できる体制を整えており、地域の安全・安心を支える役割を果たしています。

◇改善を求められる点

【今後の課題と期待される取り組み】

- ・当園は昭和57年に開設されており、築年数の経過に伴う施設の老朽化が見受けられます。保護者アンケートにおいても、施設改善を望む意見が寄せられていることから、計画的な修繕や環境改善に向けた検討が期待されます。
- ・保護者アンケートでは、外部からの侵入者への防犯対策強化を求める声も挙げられています。子どもたちの安心・安全を確保するため、防犯対策の充実や、保護者への丁寧な説明・情報共有が行われることが望まれます。
- ・ワークライフバランスに配慮し、休暇取得を促進する取り組みは行われていますが、現時点では取得率の向上に結びついている状況は十分に確認できていません。今後は、より具体的で実効性のある取り組みを進めていくことが期待されます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回受審したことで、改めて保育を振り返り、見直す機会となりました。
働きやすい職場づくりに向け、日頃のコミュニケーションを継続しながら状況に応じて職員体制を調整し、個々に声をかけるとともに、全職員が同じように休暇が取得できるよう職員体制の見直しを行い、笑顔で働ける職場づくりを目指し努力していきたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり